

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 248 号	氏名	小野原侑子
学位審査委員	主査 芳本 忠 副査 小林 信之 副査 塚元 和弘		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、生体に広く分布するアミノペプチダーゼNに関するものである。ペプチド分解に重要な役割を持つ酵素であるが、その構造や触媒機構が不明であることに注目し、X線結晶構造解析と部位特異的変異法で構造生物学的に研究したものであり、この目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 遺伝子組換え法により酵素を大腸菌で大量生産し、酵素を精製して、結晶化の後、X線結晶構造解析により立体構造の解明をおこなっており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 アミノペプチダーゼNの立体構造を基に部位特異的変異法を用い活性部位の構造を解析している。更に、酵素に特異的な阻害剤を用いて、酵素との複合体の立体構造解析から広い基質特異性の機構を明らかにした。これら解析と考察は高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			